

みんなの 伝言板

このコーナーは、皆さんから寄せられた情報をもとに、編集しています。詳しくは各団体等にお問い合わせください。

シルバー人材センター入会説明会
▼日時 9月10日(金)13時30分～▼場所 栃木保健福祉センター(今泉町2丁目)▼対象 市内在住で働く意欲のある60歳以上の方▼その他 大平地区・藤岡地区・都賀地区在住の方は、各事業所へお問い合わせください▼申込/問合せ シルバー人材センター栃木事務局 ☎23-4165 藤岡事業所 ☎62-1534 都賀事業所 ☎27-8812 大平事業所 ☎43-0155

シルバー人材センター刃物研ぎ
▼日時 9月15日(水)9時～※申込みは12時まで(雨天中止)▼場所 蔵の街広場(万町)▼費用 包丁類300円～ 刈込はさみ500円～ 修理100円～▼問合せ シルバー人材センター栃木事務局 ☎23-4165

栃木地区 中途失聴・難聴者のための相談会
「聞こえの悩みはありませんか?」▼日時 9月12日(日)10時～12時▼場所 とちぎ市民活動推進センターくらら(境町)▼内容 身体障害者相談員による聞こえのための悩み相談、無料聴力測定▼費用 無料※当日参加も可▼問合せ 市中途失聴・難聴者協会事務局赤羽根(FAXのみ25-3704)、くらら(☎20-7131/FAX 20-7312)

清水登之顕彰会の会員募集
清水登之は、栃木市大塚町出身で、市有形文化財「大麻の収穫」を描いた世界的な洋画家です。この清水登之の人物や画業を知り、市を代表する不世出の芸術家の業績を広く顕彰する会員として共に頑張りませんか。皆さんのご入会をお待ちしています。▼年会費 2,000円▼問合せ 清水登之顕彰会志鳥 ☎27-5180

栃木市長杯 第12回栃木蔵の街還暦・古希野球大会のお知らせ
皆さんの応援をよろしくお願いします。▼期日 10月9日(土)、10日(日)▼場所 総合運動公園(川原田町)▼参加チーム 関東、福島の1都6県の還暦・古希28チーム▼問合せ 栃木還暦若人野球クラブ事務局山崎 ☎27-5172

第6回とちぎ郷土大学
▼日時 9月5日(日)15時30分～17時30分※受付15時～▼場所 皆川公民館(皆川城内町)▼対象 どなたでも(100人程度)▼講演テーマ 日本語の歴史と韓国文化「韓国人の社会生活から見えてくるもの」▼費用 1,000円(資料代)▼問合せ とちぎ郷土大学板子(☎23-3166/☎・FAX 23-3157)

フォーラム「渡良瀬遊水池をコウノトリの舞う湿地に」
～ラムサール条約登録をめざして～▼日時 9月20日(月・祝)13時～▼場所 栃木文化会館(旭町)▼内容 ①講演と報告「渡良瀬遊水池に魅せられて19年」堀内洋助氏/「コウノトリと共に生きる豊岡の挑戦」中貝宗治豊岡市長/「遊水池周辺でコウノトリを育む米つくりの可能性」稲葉光國氏/「ラムサール条約湿地<蕪栗沼>での取組」呉地正行氏 ②パネルディスカッション「渡良瀬遊水池をコウノトリの舞うラムサール条約湿地に」上記講演者(中貝氏、稲葉氏、呉地氏)、青木章彦氏、河地辰彦氏ほか▼費用 無料▼問合せ 渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会猿山 ☎23-1078

栃木農業高校岩舟農場開放(梨狩り)
▼日時 9月11日(土)9時30分～無くなり次第終了※小雨決行/荒天の場合、翌日に延期▼内容 梨(豊水)の収穫・販売(量り売り)、新米(コシヒカリ)の販売予定、農場の羊の観察▼場所/問合せ 栃木農業高校岩舟農場(岩舟町/☎55-1154)

電話加入権を公売します
自動車税等の滞納のため差し押さえた電話加入権を公売します。▼日時 9月17日(金)9時50分～▼場所 県庁下都賀庁舎第一別館(神田町)▼その他 持ち物等詳しくは問い合わせください▼問合せ 県税事

務所 ☎23-3411

財日本遺族会 戦没者遺児による慰霊友好親善事業参加者募集
父等の戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善をはかることを目的に開催します。また、今年度は事業実施20周年記念事業として「洋上慰霊」を実施します。▼対象 先の大戦で父等を亡くした戦没者の遺児▼費用 8万円▼その他 日程等詳しくは問い合わせください▼申込/問合せ 県遺族会連合会 ☎028-622-3180

気功体操教室受講者募集
▼日時 10月13日(水)～平成23年2月23日(水)の第2・4水曜日14時～16時(全10回)▼場所 老人福祉センター長寿園(藪部町2丁目)▼対象 高齢者およびシニア世代(50歳以上)の方25人▼講師 武田茂氏(吉宮気功体操協会栃木支部長)▼費用 無料▼申込/問合せ 社会福祉協議会 ☎22-4457

不用品登録情報
※無料が条件です。

ゆずります

チャイルドシート(新生児～)、シングルベッド、自転車前乗せかご、ベビーベッドの内棚、おんぶひも、女児服(50～90cm)、男児服(140～160cm)、ベビーカー、ベビーベッド、マタニティドレス、乳児服(70～90cm)、アルミはしご

ゆずってください

赤ちゃん用歩行器、洗濯機、男性用自転車、婦人用自転車、子ども用三輪車、ブランコ、すべり台、小型テレビ、女児服(120～130cm)、電動式介護ベッド、電動ミシン、女児バレエ用レオタード(140cm以上)

▼問合せ 消費生活センター ☎23-8899

国際ソロプチミスト栃木 第26回チャリティゴルフ大会
▼期日 10月11日(月・祝)▼場所 都賀カントリー倶楽部(尻内町)▼定員 240人▼プレー費 10,000円(食事込)▼会費 5,000円(パーティー費込)▼その他 コース別賞品多数▼申込/問合せ 8月31日(火)までに国際ソロプチミスト栃木瀧澤 ☎23-0474

全国一斉「高齢者・障がい者の人権あんしん相談」電話相談開設
▼実施期間 9月6日(月)～12日(日)▼時間 8時30分～19時(土・日は10時～17時)▼相談内容 高齢者・障がい者(暴力・虐待等)への人権問題をめぐる相談▼その他 高齢者・障がい者の人権問題に詳しい人権擁護委員が担当。相談は秘密厳守。▼実施機関 宇都宮地方法務局・栃木県人権擁護委員連合会▼相談電話番号 ☎028-623-0926

第12回とちぎ難病相談支援センター医療相談
▼日時 9月10日(金)13時～16時(要予約)▼場所 とちぎリハビリテーションセンター(宇都宮市)▼対象 疾患 呼吸器系疾患【特発性間質性肺炎、サルコイドーシスなど】▼担当医師 平田博国氏(獨協医科大学病院 呼吸器・アレルギー内科)▼予約/問合せ とちぎ難病相談支援センター ☎028-623-6113(月～金曜日 10時～12時/13時～16時)

「障がい者生活とリハビリ」講演会開催
▼日時 9月18日(土)13時30分～16時▼場所 栃木保健福祉センター(今泉町2丁目)▼テーマ 一人でも出来るリハビリ▼講師 黒瀨永寿氏(自治医科大学附属病院作業療法士)▼定員 30人▼問合せ 障がい者の一人暮らしを考える会事務局(☎090-7701-3130/18時以降/FAX 27-6520)

全人的ながん医療の実践者養成のための国際セミナー開催
▼期日 9月10日(金)～11日(土)▼場所 自治医科大学地域医療情報研修センター(下野市)ほか▼テーマ 全人的ながん医療の実践者養成と多職種協働体制の発展▼主催 自治医科大学・国際医療福祉大学▼問合せ 国際セミナー事務局 ☎03-5159-2208

男女雇用機会均等法等の相談
経営環境の悪化している場合であっても、妊娠・出産、育児休業等の取得を理由に解雇や不利益な取扱いが禁止されています。職場での男女均等取扱い、セクハラ、母性健康管理のほか育児・介護休業法、パートタイム労働法に関するご相談をお受けします。▼相談/問合せ 栃木労働局雇用均等室 ☎028-633-2795

ウェルワークとちぎ会員募集
▼対象 市内の中小企業の事業主や勤労者、また市内在住で市外の中小企業にお勤めの方▼事業内容 野球観戦、宿泊施設補助、人間ドック受

診費用の一部助成等の福利厚生事業▼会費 1人1か月800円(入会金なし)▼申込/問合せ ウェルワークとちぎ ☎20-5183

看護職員再就業支援研修会
◇技術選択コース ▼期日 10月4日(月)・5日(火)・6日(水)、12月3日(金)・6日(月)・7日(火)◇知識技術集中コース ▼期日 平成23年2月1日(火)～7日(月)
○共通事項
▼対象 看護職の資格を持ちながら就業していない方、就業中でもさらに知識・技術を磨きたい方▼場所 下都賀総合病院(富士見町)▼受講料 無料▼申込/問合せ (社)栃木県看護協会 ☎028-625-6141

第23回きのご料理コンクール作品募集
県および県林産協会では、風味豊かな本県産きのこを利用した「きのご料理コンクール」の参加作品を募集します。応募対象はジュニアの部(中学生以下)、一般の部(高校生以上)です。▼締切 9月7日(火)▼問合せ 詳しくは県林業振興課 ☎028-623-3272

全国一斉成年後見無料相談会
▼日時 9月18日(土)10時～15時▼場所 県司法書士会館(宇都宮市)▼相談方法 面接、電話▼相談内容 成年後見(高齢者の財産管理)▼相談員 司法書士・社会福祉士▼問合せ リーガルサポートとちぎ支部(宇都宮市/☎028-632-9420)

幸せを求めて

問合せ 人権推進課 ☎24-2444

外国人相談

現在、栃木市には、1,800名を超える外国人登録者がいます。その中で最も多いのはペルー国籍の方で、全体の約3分の1を占めています。彼らの多くは日系人で、主に製造業の現場で働きながら、家族ぐるみで定住しています。

栃木市国際交流協会では、ペルー人の母国語であるスペイン語での外国人相談窓口を開設し、毎日、税金・医療・福祉・住宅・雇用など様々な生活相談を受けています。その中で、外国の方にとって、言葉の壁は、ひとつの大きな障がいとなっていると分かりました。日本語が分かれば何でもない些細なことが彼らを悩ませています。文化や習慣の違いだけでなく、会社や学校などで、日本語で自分の言いたいことが十分に伝えられないことが、大きな誤解を招く原因となり、ストレスとなっています。

ペルー人に限らず、私たちの周りには外国の方は、町内の隣人であり、職場の同僚であり、日常的にお付き合いする人たちです。外国人だからといって特別視するのではなく、同じ地域の仲間として共に理解していききたいものです。